

## 第2章 豊中市子ども読書活動推進計画における 評価の基本的な考え方

### 1. 評価の主旨

本市の推進計画の実施については“すべての子ども”を視野に4項目の基本方針（P. 1）のもと、実施計画を策定し、平成18年度（2006年度）から地域交流会の開催、「とよなか子ども読書マップ」の作成及び領域ごとの164の事業に取り組んできました。また豊中市子ども読書活動推進連絡協議会およびワーキンググループにおいて、これらの子ども読書活動推進の取り組みにおける評価について、その方法や表現方法を検討してきました。

本市では図書館とともに、子ども文庫など、子どもと本をつなぐ市民の活動が40年以上継続して行われています。その実践を通して、市民と図書館は子ども読書のアウトカム、つまり子どもが本と親しむことを通してあらわれる変化については、心の内面の問題でもあり、非常に見えにくく、また時間がかかるものと考えられてきました。例えば子どもが本を読んでもらい大人に成長した時、幼いころの本を楽しんだ記憶から、わが子と再びその楽しさを共有したいとの思いをもちます。こんな経験を持つ子どもが大人になって図書館に通い、自分の子どもに読み聞かせを行うのは、子ども読書活動のアウトカムそのものということになります。

このように読書は子ども自身の成長や、地域の文化として何らかの変化、アウトカムがあらわれるまでに相当な時間を要し、また時によっては目に見える形で表れない場合もあること、さらにそのことを数字でのみ評価することは困難であると、市における過去の取り組みをふまえ、連絡協議会およびワーキンググループで再確認しました。そこで前述の基本方針に沿い、何冊読んだかという子ども自身の読書の数値等だけではなく、主に以下の3点に関わる子どもの読書環境をどれだけ整えたかという基準に視点を置いて行うこととしました。

- ① 事業、ネットワーク、情報（ソフトウェア）
- ② 読書に関わる施設と資料（ハードウェア）
- ③ 子どもに本を手渡す専門職員、その他担い手の意識（ヒューマンウェア）

豊中市における長年の子ども読書環境づくりの歴史の上に、豊中市子ども読書活動推進計画の策定、および実施計画に基づいて行った豊中市の子どもの読書環境整備が、5ヵ年という短期の計画ながらどのように子どもに影響を与えたかを評価を通して知り、課題を見つけ、今後の方向を見出す材料としたいと思います。

## 2. 評価につながる重要な指標

次の①から③の指標を特に重要と考え、注目して評価を行いました。

### ①事業、ネットワーク、情報（ソフトウェア）

- ・おはなし会や絵本など啓発講座の開催回数
- ・情報提供・リーフレット配布
- ・ボランティアによる学校での読み聞かせなどの回数
- ・学校での多様な読書活動の取り組み、授業との連携など
- ・「えほんはじめまして」の実施回数

詳しくは、全体的な取り組み P. 8～10、領域ごとの取り組み P. 10～18、子ども読書活動のネットワーク P. 19をご覧ください。

### ②読書に関わる施設と資料（ハードウェア）

- ・施設や学校の蔵書冊数、図書館からの借受冊数
- ・学校図書館の蔵書冊数 小中別合計、児童・生徒数
- ・学校図書館図書標準達成率
- ・障害のある子どもや外国人の子どもへの支援 動く図書館の巡回、多言語資料の蔵書冊数

詳しくは読書に関わる施設と資料 P. 20～21をご覧ください。

### ③子どもに本を手渡す専門職員、その他担い手の意識（ヒューマンウェア）

- ・本を手渡す専門職員（学校図書館司書・市立図書館司書）の意識 アンケート調査
- ・乳幼児に関わる大人や保護者の意識（保健センターでの聞き取り調査）
- ・本を手渡すボランティアの意識（地域交流会でのアンケート調査）
- ・障害のある子どもの保護者の意識（施設での聞き取り調査）
- ・外国人親子の意識（とよなか国際交流協会での聞き取り調査）
- ・ヒューマンウェアに関わる取り組み 子ども読書活動推進連絡協議会ワーキンググループの設置、「子どもと本をつなぐ地域交流会」、学校図書館司書連絡会、研修

詳しくは子どもに本を手渡す専門職員、その担い手の意識 P. 22～24、アンケートおよび聞き取り調査 単純集計結果 P. 57～81をご覧ください。

※ 本来は事業目的として求めた有益なアウトカム（成果）を測定すべきところですが、子どもの読書活動に関しては中・長期評価でないと現れないものも多く、特徴的な変化が生じたと思われたところをピックアップしています。

### 3. 評価の指標 一覧

重要と考える主な指標を領域ごとに一覧としました

	事業・ネットワーク、情報 (ソフトウェア)	読書に関わる施設 と資料 (ハードウェア)	子どもに本を手 渡す専門職員、そ の他担い手の意 識 (ヒューマンウ ェア)
1. 家庭・地域における子 ども読書活動の推進			・乳幼児の保護者の 意識
(1) 家庭における読 書	・おはなし会開催・講座開催 ・情報提供・リーフレット配布 ・本の貸出 ・アンケート結果	・市立図書館の児童書 蔵書冊数	・ボランティアの意 識 ・市立図書館司書・ および学校図書館 司書の意識
(2) 地域における市 民活動	・ボランティアによる読み聞かせなど の回数(朝読、授業、放課後こどもク ラブなど) ・ボランティア講座の参加人数	・地域で活動する団体 への貸出冊数 ・地域で本のある施設 数	・学校図書館連絡会
2. 地域の公共施設等 における子どもの読書 活動の推進	・子育て支援センターでの取組 ・子育てサロン・サークルの取組	・地域の公共施設など の蔵書冊数	・研修会 ・学校・市立図書館 連絡会
3. 保育所(園)・幼稚 園における子ども読書 活動の推進	・未就園児に対しての絵本とふれあう 活動の回数 ・在園(所)児への絵本とふれあう活 動の回数	・園(所)の蔵書冊数 ・子どもが絵本を手に 取りやすい場所の数	・「子どもと本をつ なぐ地域交流会」
4. 学校における子ど も読書活動の推進	・朝の読書などの読書活動の取組み ・授業との連携、図書館利用指導 ・読書週間など、行事の企画 ・学校図書館だよりをはじめPR活動 ・ボランティアによるおはなし会など	・学校図書館の蔵書冊 数 ・学校図書館図書標準 の達成率 ・学校図書館資料運搬 システム	
5. 障害のある子ども や外国人の子どもなど の読書活動の推進	・「おやこでにほんご」 ・多言語の利用案内 ・障害児通園施設でのおはなし会、 図書館見学会	・動く図書館による巡 回 ・多言語資料の蔵書冊 数	子どもや子どもの 本に関わる市民、職 員が関わって豊中 市子ども読書活動 推進連絡協議会 を構成
6. 市立図書館におけ る子ども読書活動の推 進	・おはなし会の回数 ・「えほんはじめまして」の実施回数	・市立図書館の蔵書冊 数 ・団体貸出冊数	